

## 国を守る熱い意志 自衛官候補生戦闘訓練

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己1等空佐）は5月27日（水）、東富士演習場（御殿場市・裾野市・小山市）で行われた、第34普通科連隊自衛官候補生課程教育の「戦闘訓練」を取材した。

教育も佳境に入り、今回の訓練は、今まで教わってきた基本・基礎と、日々のトレーニングで培った体力を駆使して、敵陣地を制圧する想定で行われた。

生い茂る草原に身を隠すため、鉄帽に草を付けて偽装し、顔には緑や茶色の顔料で迷彩模様を施した自衛官候補生たちは、銃を抱え、横一列に並んで出発。安全確保のため、2つの班が交互に前進と援護射撃を繰り返しながら、丘陵地帯を進んでいく。

敵陣地近くでは、地面と一体化するように低い姿勢を保つため、教官から「頭を低く」「かかとを上げない」と注意を受けつつも、仲間を配りながらほふく前進を進む、真つすぐ前を見据えた瞳からは、国を守るという使命感と同期との深い絆が感じられた。

自衛官候補生たちは今後さらに技術を磨き、教育課程も終わりに近づくとともに、これまでの成果を評価する修業試験に臨む。

静岡地本は、今後も自衛官を目指して訓練に励む自衛官候補生たちに密着し、その成長を広く広報していく。



## 採用試験始まる 自衛官募集中

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己1等空佐）は6月13日（土）、陸上自衛隊駒門駐屯地（御殿場市）及び航空自衛隊浜松基地（浜松市）において、今年度初めてとなる自衛官候補生採用試験を実施した。

新型コロナウイルスの影響で、4、5月に実施予定だった一般幹部候補生試験が中止や延期となる中、全国緊急事態宣言の解除に伴ない、今回は今年の9月及び10月に入隊希望の社会人や、来年度卒業の大学生、専門学校生を対象とした自衛官候補生の採用試験を実施した。各試験会場では、非接触型の体温計を使った検温、アルコール消毒液の設置、受験者同士の間隔を十分に保つ等、感染防止策に努めた。

受験者は、公務員希望の大学生や専門学校生が大半を占め、新型コロナウイルスの關係で県内の公務員試験の中で最も早い試験となったためか、少し緊張した様子で試験に臨んでいるようだった。

身体検査、筆記及び口述試験が終了すると、受験者たちは無事に終わった安心感からか、周りの受験者や担当広報官と笑顔で感想を話していた。

静岡地本は、引き続き志望者が安心して受験できるよう、ホームページやツイッターを駆使して採用試験に関する情報を発信していくとともに、感染防止策に万全を期し、今年度の採用試験、募集活動を実施していく。

